

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100978		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム 大洗	ユニット名	一の館
所在地	〒311-1311 茨城県東茨城郡大洗町大貫町長峰2922-1		
自己評価作成日	平成21年11月2日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年12月11日	評価確定日	平成22年5月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者さん、職員共に笑顔のあるグループホームになるよう努力している。 利用者さんの体調変化には日々、毎日きをつけている。急変があった場合には、24時間医療体制は、整えてありいつでも対応している。 「自分らしく、いきる」の理念のもと、日々考えながら過ごしている。 社訓である「やさしく、しんせつ、ていねいに」の理念も、常に頭にいれて日々努力している。 今年も、職員の異動もなく、安定している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>運営母体の病院の往診や受診、24時間の医療体制のもと緊急時の相談や支援をしているほか、家族等や利用者が希望する病院への受診も支援しており、利用者や家族等が安心して生活ができる体制を築いている。 利用者は洗濯物たたみや新聞折り、下膳、テーブル拭き、庭の草取りなどを担うとともに、自分の洗濯物は居室に干している。 職員は利用者一人ひとりの生活歴や能力を活かしたケアができるよう支援に努めている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念として、「自分らしく、生きる」を掲げている。	「自分らしく生きる」を理念とし、利用者一人ひとりの地域での生活歴や能力を活かしたケアを継続し個々の尊厳を大切にしたい支援をしている。 理念は全職員で話し合い作成し、事業所内に掲示している。 職員は介護計画の作成や言葉かけ、行事など日々のケアの実践の中で理念を振り返り共有に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園児、中学生の体験学習を通して地元の人々と交流することにつとめている。	本年度はインフルエンザの流行により保育園児の受け入れや中学生の体験学習が中止となったが、地域に呼びかけ事業所主催の行事を開催している。 定期的に琴演奏などのボランティアとの交流があり近隣へも呼びかけ開催している。 警察署や消防署、消防団に働きかけ利用者が外に出て行ってしまった場合などに協力が得られるよう依頼をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用料金を期間限定ではあるが、1ヶ月、7万円に設定して、町の方が見学や入所しやすくした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の開催を進めている。出席率もよく、運営に積極的に意見をかわしている。	運営推進会議は年6回開催し事業所の状況や行事、年度事業や外部評価の結果などの報告、食事の試食などを行うとともに、課題の改善を話し合い、サービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入居状況について町役場からも日頃より連絡をとり実情を伝え協力関係を築き取り組んでいる。	町担当者が運営推進会議に出席しているほか、町担当者から情報提供を受けたり事業所の課題を相談している。 町主催の会議や研修会に参加する関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、家族等に説明し納得の上、行っているが、事業所としては、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員も、理解している。	管理者は内部研修を実施し、身体拘束をしないケアに取り組むとともに、利用者に危険な行為が見られた場合は早めの対応を心がけている。 玄関は見知らぬ人の訪問や利用者の柵越えを予防するため家族等の承諾を得て施錠しているが、広い中庭には自由に出入りができ、利用者は草取りや外気浴などを楽しんでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待がないよう、日々話し合いを持ちながら、ホーム内研修も行って、職員の意識を高めて取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や青年後見制度についての知識が、乏しい為、学ぶ機会を持ちたいと、おもいます。管理者、職員が資料をもとに勉強して利用者に支援できるようにしたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約に関しても、家族に、十分に説明し、納得した上で入所していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を提示している。利用者がなんでも話せるように、ひとり、ひとりコミュニケーションを、取っている。	職員は利用者と日々の生活の中で話し合い意向の把握に努めるとともに、家族等から面会時や電話連絡時に要望を聴き、出た意見等を運営に反映させている。 自宅への外泊は家族等や利用者の希望にそって可能となっており、安心した生活の継続支援に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、月例を行い意見交換を行っている。また、その都度、問題点は、話し合える環境を作っている。	管理者は日々の記録や朝礼、申し送り時、月例会議などを利用して職員の意見や要望を聞き、運営に活かしている。 本年度は職員の意見を反映して職員の異動を見送ったほか、行事などでユニット間の交流に努めたため利用者との馴染みの関係が構築され、利用者は穏やかに暮らすことができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に無理のないようなローテーションを組み、いつでも対応できる人数のもとで、勤務できるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の他施設に研修に行ったり、町の研修会に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	大洗町の包括支援センター中心に、年10回の交流、会議、勉強会があり参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安等の訴えをよく聞き、受け止めるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や、電話などで、家族の不安や、もとめていることを、受け止めるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、家族と本人の希望をきいて他医院の継続支援など必要なサービス支援を行えるよう対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごす中で、職員も笑ったり泣いたり喜んだり共に支えあう関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	心配ごと、悩みなど相談にその都度応じる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者への家族や友人など面会の際には、居室でゆっくり過ごせるように支援し、飲み物などを提供している。	職員は利用者の友人や家族等に手紙や年賀状を書き投函したり公衆電話の利用などを支援し、利用者の馴染みの人との関係が継続できるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	声掛けし、散歩や、レクリエーションなどし、仲良く会話できるように、職員もはいり努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関連病院に行った場合は、サービス終了しても、関係を断ち切らない取組をし相談や、支援に、努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランなど立て本人の視点に立ち話し合い検討している	職員は利用者との日々の係わりの中で会話を楽しめる時間を設け、表情や言葉から利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 把握が困難な場合は、家族等の面会時に意見を聴き職員で話し合い利用者本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書や家族から聞きとりをし把握している			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌、申し送りノート、朝礼により把握するよう努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開き、家族の意見を聞いて、現状に合った介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等の希望を反映させるとともに関係者と話し合い作成し、家族等に確認を得ている。 職員は月例会議で利用者の生活状況を把握するとともにモニタリングを行い、会議で出た意見等を取り入れ状態に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のケース記録を毎日記録している。日常の暮らし、言葉、行動など、その日の、状況を記録し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時、家族と連絡を取り、家族の要望を聞くようにしている。（タクシー利用など）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署、警察署、ボランティアにも働きかけて入居者の安否の見守りをお願いしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談の上きめている。眼科、婦人科などは、美野里病院にないので、家族の方をお願いしている。	運営母体の病院による24時間受診可能な医療体制のもと定期的な往診や通院支援をするとともに、かかりつけ医や歯科医への受診などにも利用者や家族等の希望にそって支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	電話などで、連絡を取り合いながら、様子を話したり、適切な看護を受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族の希望を聞きながら病院との連携を図り早期退院に向けた働きかけをしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、速やかに家族、医師と話し合い、本人の希望、家族の意向を確認しながら対応、方針の共有を図っている。	重度化した場合や終末期の対応は、利用者や家族等の意向を踏まえ、医師や職員が連携を図りながら支援をしている。 運営母体の病院の協力や支援があるため、利用者や家族等の安心につながっている。 重度化や終末期に向けた対応方針を利用契約時に説明するとともに、利用者や家族等の意向を確認し同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当のマニュアルは、すぐに目のつく所にはってあるが、定期的、講習、訓練は、していない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、火災避難訓練をおこなっている。本部の方にも、災害対策について、対応をお願いしている。	消防署立会いのもと火災避難訓練や消火訓練、夜間を想定した避難訓練を年2回実施しているが、地域住民の協力を得た避難訓練を実施するまでに至っていない。 災害時に備えて事業所で食糧や飲料水などを備蓄しているほか、同一法人の施設から物品等の支援が得られる協力体制を整備している。	運営推進会議や事業所の行事、地域行事、地域の集まりなどを利用し、災害時における事業所の役割などについて話し合うほか、消防団や地域住民の協力を得た避難訓練を実施したり、事業所独自の避難訓練を実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人、一人のプライバシーを大切にしています。	職員はプライバシーを損ねない対応に努めており、利用者への挨拶や言葉かけを通して自己決定を促し、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望を、日常聞くようにして、出来る限りの支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分のペースで、生活して、いただくように、支援しているが、決められた時間の中での生活なので、難しい時もある。利用者の方も、何をどうしたら良いのか迷ったときは、本人の気持ちを大切にし、柔軟な支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度、理容を行い、本人の希望の髪型にしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは、決まっているが、特別メニューにして、希望の食事が、出来るようにしています。また、おやつなどは、季節のくだものをいただく。準備はしないが、食後の食器のかたづけは、行ってもらっている。	食材は運営母体の病院まで職員が取りに行き、栄養士が立てた献立に基づき食事を作っている。 利用者は能力を活かして下膳や後片付けなどを職員と一緒にしている。 利用者と職員と一緒に食事することで和やかな雰囲気の中、利用者同士が支え合い感謝の言葉が聞こえている。 利用者にお楽しみメニューを提供したり、運営推進会議で委員に試食をしてもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者、一人一人の、食事量、水分量のチェック表を使用し、毎日3食の摂取量の確認を行うと共に利用者個人の、好みを聞きバランスの取れる状態に、支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの実施。入れ歯のかたは、入れ歯洗浄剤にて実施。一人で出来ない方は、介助しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人で出来ない方は、介助し、見守る。毎日のパターンで、時間でトイレ誘導し、排泄出来るように、支援している。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子からサインを察知し言葉かけやトイレ誘導をしている。 利用者の身体機能に応じた排泄の支援をするとともに、日中はおむつを使用しないで済むよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師と相談し、便秘薬の調節。体操、腹部のマッサージなどをおこなう。排便のチェック表を、毎日記録している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	こちらの都合で、館の曜日は、決まっているが、本人の希望により、月～土までどの館でも、入浴できるが、時間帯は、午前中となっている。	入浴は日曜日を除き週2回午前中と決まっており、利用者や家族等の希望にそった支援をするまでには至っていない。 入浴を拒む利用者や体調の変化で当日入浴ができない利用者は、3ユニット間で連携し希望にそって入浴ができるよう支援している。	入浴は事業所で決めた曜日や時間に合わせるのではなく、家族アンケートを実施したり運営推進会議などで話し合い、利用者や家族等の意向を大切にしたい入浴支援ができるよう取り組むことを期待する。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前中、日光浴、外気浴、体操など、体を動かして、休息したり、安心して、眠れるように、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	本人の薬であることを、確認。服薬への安全を図っており、一人一人の、使用している薬の用法と副作用を書き出し、ファイルにとじてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	庭の草取り、新聞折、食事のときに、テーブル拭きや、下膳、清拭布折など、楽しみ事、気分転換等の支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や、日光浴で、園外に出ることはあるが、出かけると言うまでには、いかない。病院の送迎のとき、季節によってコースを、変えてもらい、花をみたりしている。遠出などは、家族に協力してもらい、支援しています。	利用者は家族等の協力を得て外食や墓参りに出かけたり、職員と一緒に事業所周辺を散歩することが楽しみとなっているが、事業所には外出に使用できる車が無いため、職員は利用者の希望にそった買い物やドライブ、地域の行事に参加できるよう支援をするまでには至っていない。	利用者が意欲を持って生活ができるよう、気分転換やストレス解消、五感刺激を得る機会として希望にそった外出支援に取り組むことを期待する。 利用者や家族等へ外出に関するアンケートを実施したり運営推進会議で話し合うなど、外出支援の改善に向けた取り組みを期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知度により、管理が難しい利用者もいるが、本人が管理しているひとは、ホーム内自動販売機で、ジュースを買ったり、電話をかけたたりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状、礼状など、手紙のやり取りが、出来るよう支援しています。本人がほしいものがあるときは、電話で家族にしらせている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の空間を活かして、居場所となる、スペースを、数ヶ所作っている。季節の花を、飾ったりして、季節感を採り入れ、居心地良く過ごせるように、している。	職員は玄関や食堂に季節の花やクリスマスツリー、利用者の作品を飾り、季節感を取り入れて利用者が穏やかに過ごせるよう工夫をしている。 共用空間に畳部屋があり、利用者が洗濯物たたみなどに利用している。 食堂や廊下に長椅子やテレビ、机などを配置し、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。 浴室やトイレは清潔に保たれている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士が、自由に居室に遊びに行ったり、ホーム内のソファを利用して、過ごせるように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真を飾ったり、室内洗濯干しを、持ってきてもらったり、私物の多いかたは、タンスの他にクリアケースなどを、利用したり、生活しやい様に、家族の方にも協力してもらっている。	利用者は居室に箆笥や小物入れ、時計、日用品、家族等の写真、手作りの作品、歯ブラシやコップなど使い慣れた馴染みの物品を持ち込んだり、物干しを設置して洗濯物を干すなどで、落ち着て生活ができるよう工夫をしている。 職員は利用者の生活歴を考慮し、安心して過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の居室がわかるように、花や飾り物があったり、場所の名称が、かいてある。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム大洗

作成日 平成22年 6月 7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入浴の支援について	家族に希望アンケートを実施 方向性を検討、現状のままで良いとの事	外部評価後、家族にアンケート実施 2月に結果報告する	H22. 2
2	35	災害対策	地域の方の協力を得る	H22. 4月消防訓練で地域の方に知らせ参加して頂いた	H22. 4実施
3	49	日常的な外出	外出ができるよう計画作成する	病院の車の手配を実施、地域の巡回バスが停留所以外でも止まってくれるか検討町役場にTEL済み	H22. 11頃
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。